

平成22年度 第11回 (2月) 理事会議事録

- 日 時 平成23年2月10日(木) 午後6時30分～7時46分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、事務(仲野)
- 欠席者 大垣、山中監事
- 議 長 今井

【討議内容】

I. 行動報告 (1月分)

- 1月5日 大阪府医師会新春互礼会
今井、運天
- 7日 病院五団体新年互礼会
今井
- 7日 大阪府看護協会新年互礼会
今井
- 8日 大阪府放射線技師会新年互礼会
今井
- 9日 大阪府歯科技工士会創立五十五周年記念祝賀会
今井
- 9日 大阪府薬剤師会新年互礼会
運天
- 9日 大阪府鍼灸師会新年互礼会
運天
- 11日 学術部会
高田、宮野、山西
- 13日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、宮野、山田、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、山中監事
- 14日 大阪府理学療法士会新年互礼会
今井
- 15日 平成22年度 大臨技・大放技合同フォーラム
今井、運天、竹浦、清水、田畑、大垣、出野、栗本、山西
- 18日 渉外部会
清水、大垣、増田
- 19日 総務・会計部会
吉本、荒木、山田
- 20日 情報組織部会
運天、井戸田、山西
- 20日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 20日 日臨技認定一般検査技師制度審議会
今井
- 22日 平成22年度 施設連絡者会
今井、運天、竹浦、荒木、清水、田畑、山田、栗本、出野
- 22日 大阪府看護連盟新年互礼会
今井
- 26日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木
- 26日 大阪医療技術学園卒業研究発表会
今井
- 29日 近畿地区連絡協議会
運天

II. 経過報告

1. 日臨技

- 支部設計は平成23年12月1日から運用開始。支部名称について、近畿は関西支部となる。支部学会名称は、平成〇〇年度日本臨床衛生検査技師会△△支部学会(第××回)に統一する。

- 平成23年度から医学検査は年6回発行となる。
- 新法人への移行スケジュールが決まった。平成23年9月に認可申請、平成24年2月に認可・登記・新法人に移行予定である。
- 創立60周年記念事業は、新法人へ移行前の平成23年11月11日に行う。
- 日臨技直轄研修について(予定)
 - (1)脳死判定に関する研修会:7月10日 東京
 - (2)輸血安全管理研修会:8月21日 東京
 - (3)感染症に関する研修会:9月17・18日 東京
 - (4)臨地実習指導者研修会:12月3・4日 東京
 - (5)医療安全管理者研修会:11月13日 東京

平成24年1月15日 大阪

2. 近臨技

- 1月29日に近畿地区連絡協議会の在り方委員会が開催された。
- 3月20日に理事会を開催し、近畿地区連絡協議会のあり方について検討する。

3. 事務局

- 〈総務部〉
 - 1月18日に部会を開催した。
 - 大臨技総会について検討した。
 - 大臨技会員証について検討した。
 - 賛助会員への対応について検討した。
 - 教育施設への対応について検討した。
 - 大臨技行事スケジュール管理について検討した。
 - 大臨技ニュース1月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
- 〈会計部〉
 - 1月18日に部会を開催した。
 - 12月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ12月分会費の送金を行った。
 - 平成23年度予算案を作成した。
- 〈渉外部〉
 - 1月19日に部会を開催した。
 - 手話講習会および講演会について反省会を行った。
 - 第4回合同フォーラムについて反省会を行った。参加者は、大臨技53名、大放技45名、一般6名であった。
 - 献血推進活動について打合せを行った。2月26日(土)10:00～16:30 難波グリーンガーデンにて開催され、なんば献血ルームの見学会も行う。12時45分からのセレモニーには今井会長が出席する。
 - 平成23年度事業計画及び渉外部体制について検討を行った。
 - 総会運営について打合せを行った。

4. 事業局

- 〈情報組織部〉
 - 1月20日に部会を開催した。
 - アンケート調査集計報告を検討した。
 - 2月19日に開催される技師長会の、内容・進行・役割等について最終確認を行った。
 - 平成23年度事業について検討した。
- 新入会員研修会:6月18日、技師長会:平成24年2月18日、他職種合同研修会
- 〈地区事業部〉
 - 1月20日に部会を開催した。
 - 施設連絡者会は、平成23年1月22日(土)14:30～17:00 病院年金会館にて開催される。当連絡会について最終確認を行った。
 - 来年度事業について話し合った。
- 〈学術部〉
 - 1月11日に部会を開催した。
 - 第4回学術部講演会に関して検討した。

Ⅲ.他、報告

1.事務局報告（運天副会長）

- 事務員求人の状況
- 求人状況として96名より応募があり、書類選考の結果10名との面接を2月14日に予定している。
- 事務PCの入れ替え
事務所のPCに不具合が生じ、PC2台を購入し、内1台の設置が完了した。

2.大臨技会員証について（吉本常務理事）

- フジイ・カラーリプロ（糊）作成とし、2色刷り、葉書形式の圧着方式、裏面には、大臨技事務所の地図を印刷する。
- 会員証には、施設名、氏名、会員番号、施設番号、会員証の有効期限、賠償保険の有効期限を印字する。
- 大臨技会員番号バーコードも印字する予定である。
- 会員証の作成予定として、2月末までに会費を納入した会員は、3月末までに送付する。その後は、3ヶ月ごとにまとめて作成し、最終の1枚の単価は73.2円となる。9月以降は、制作費が大幅に上るため、ハガキを代用する等の対策を検討することとした。
- 会員証の送付時期に関し、大臨技ニュース2月号に掲載すると共に3月号にも掲載し広報する。

3.臨床検査教育機関懇談会について（竹浦副会長）

- 3月23日（水）19：00～20：30に大臨技事務所において開催される。
- 来年度の教育セミナーの内容と協力体制について、各教育機関の先生、常務理事会役員、各部長、山田理事とで討議される。

4.近畿地区連絡協議会あり方委員会の進捗報告（運天副会長）

- 平成23年1月29日（土）15：00～17：00に、奈良県技師会の山本会長を中心とし、兵庫県技師会の富永会長、近臨技の事務局長、オブザーバーとして近臨技地区担当の森嶋理事の参加のもと開催された。
- 日臨技情報（森嶋オブザーバー）
 - ①日臨技総合研究所の設立。
 - ②日臨技支部は7支部で、近畿は関西支部とする。
 - ③理事会は年4回、幹事会は年2回の開催とする。
- 近畿地区連絡協議会の目的と役割は、関西支部では不十分な会員サービスを補い、合同研修会の開催、意見や情報の共有が出来る場を創る。
- あり方委員会として、3月20日の近臨技理事会までに、近畿地区連絡協議会の組織・会計・活動についての素案を作成し、理事会に提案する。

5.平成23年度学術事業について（高田常務理事）

- 学術部の学術研究費として、一般検査で見た統計学・講演会・企画等の見直しの結果、学術部公益事業比率が52%となった。
- 荒木会計部長より、大臨技公益事業のパーセントにより、各部の会議費と事務費を振り分けると、公益事業費比率が約50.1%となるという報告があった。

6.子宮がん健診啓発活動について（清水理事）

- 4月9日（土）細胞検査士会の清水部長から協力依頼があった。
- 詳細について協議を行い、3月の理事会に共催申請を提出する予定である。
- 渉外部を、運営上、公益事業部門（手話・献血・健診推進啓発担当）と渉外部門（合同フォーラム・府民健康フォーラム、看護の日等担当）に分けることとした。

7.その他

- 大臨技後援の臨床化近畿支部総会が、2月5日に開催され、127名の参加があった。
- 日臨技への確認事項として
 - ①日臨技医学検査の発刊が年6回となった理由とし

て、投稿が減ってきたこと、予算の削減との回答があった。

- ②近畿学会のメーカーの展示は、メーカー側の費用負担を考慮し基本的には行わない。

Ⅳ.議題

1.総会について（吉本常務理事）

- 平成22年度第2回定期総会（平成23年度予算総会）タイムスケジュールに従い説明があった。
- 平成23年3月24日（木）19:00～20:30、大臨技事務所にて開催、役員は6:30に集合とする。永年会員表彰者は61名で、代表者は大江泰浩氏（JR西日本健康増進センター）とする。
- 第一議長候補者は、渉外部より山本裕之氏（大阪赤十字病院）、第二議長候補者は学術部の山内一浩氏（市立豊中病院）とする。両議長候補者には3月理事会に出席していただく。
- 資格審査委員として、清水理事（委員長）、井戸田理事、会員3名は、総務部より、岡本氏、三上氏、伊東氏とする。
- 第3号議案「公益社団法人移行に関する件」、第4号議案「日臨技代議員」は、今井会長、運天副会長、竹浦副会長、吉本常務理事とする。

2.公益法人移行支援コンサルについて（運天副会長）

- 倘あるとファイナンシャルアドバイザーサービスより提示の業務契約書の確認を行い、公益法人移行の業務契約が承認された。

①委任業務の範囲

公益社団法人移行にかかわる申請書及び所要の添付書類作成の支援と付随業務
大阪府との事前協議出席

②契約期間は、平成23年2月7日から平成25年11月30日までとする。

③報酬額は、420,000円とし、認定通知受理後に指定口座に振り込む。

3.スケジュール管理について（吉本常務理事）

- 大臨技ホームページ上でCGI（Common Gateway Interface）機能を利用したカレンダーを使用し、会員専用ページにパスワードにより入り使用する。使用に際し、運営側の責任において、予定変更等に迅速に対応することとする。
- パスワードの発行対象は、広報実務を担当している各部の部長および担当者とする。広報実務担当者メーリングリストを作成し、広報実務担当者がスケジュールを入力後、メーリングリストにて報告する。

4.その他

- 日本医学会より「第28回医学会総会2011東京」（平成23年4月8日～10日）の抄録集5冊が送付されて来たとともに、事前登録が2月28日まで延長した旨の連絡があった。